

# 2015年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)



2015年7月15日（水）

大手町ファーストスクエアカンファレンス Room D

## 1. 2015年5月期 通期決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

## 2. 2016年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

## 3. 2016年5月期 営業戦略

営業本部長

東山 秀行

## 4. 質疑応答

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (1)2015年5月期通期 連結決算概要報告

国内産業分野の開発投資が伸び悩むも米国・欧州・アジア市場は堅調。グローバル展開強化と生産効率化推進により利益は増加。微減収増益。

(単位:百万円未満切捨)

	2013/5期 累計実績 (前年同期比)	2014/5期 累計実績 (前年同期比)	2015/5期 修正予算 (前年同期比)	2015/5期 累計実績 (前年同期比)	構成比	サマリー
売上高	6,191 ( - 10.9 %)	6,724 ( + 8.6 %)	6,850 ( + 1.9 %)	<b>6,676</b> ( - 0.7 %)	100.0 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、官公庁向け研究開発分野は慎重な予算執行で横ばいで推移</li> <li>・産業分野は設備投資が回復基調も研究開発投資が弱含みで推移</li> <li>・米国、欧州、アジア地域は堅調</li> </ul>
営業利益	178 ( - 58.4 %)	360 ( +102.4 %)	440 ( + 22.0 %)	<b>435</b> ( + 20.7 %)	6.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産効率化による原価抑制効果</li> <li>・開発費の増加により販管費全体も微増</li> </ul>
経常利益	280 ( - 50.2 %)	489 ( + 74.4 %)	540 ( + 10.3 %)	<b>555</b> ( + 13.5 %)	8.3 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業外収支は大きな変動要因なし</li> </ul>
当期純利益	134 ( - 50.8 %)	294 ( +118.8 %)	305 ( +3.5 %)	<b>327</b> ( + 11.0 %)	4.9 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年5月期は繰延税金資産が増加</li> <li>・2015年5月期は法人実効税率の引き下げにより繰延税金資産を取り崩すも開発税制見直しの恩恵あり</li> </ul>
1株当り 当期純利益	17円87銭	39円11銭	40円49銭	<b>43円41銭</b>	-	

(当期実績は、為替レート(期中平均)として、1USドル=110.03円、1人民元=17.74円、1ユーロ=138.68円で計算しております。)

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (2)セグメント別 売上高・営業損益推移 (連結)

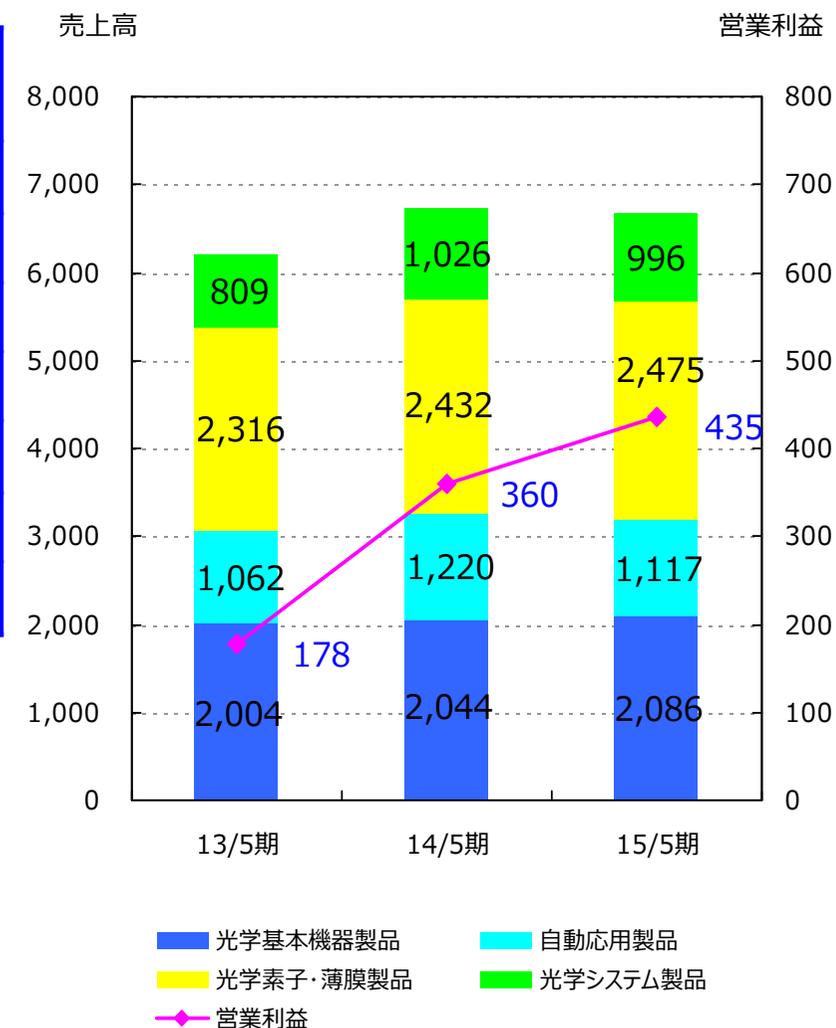
### 売上高

(単位:百万円未満切捨)

(単位:百万円未満切捨)

(単位:百万円未満切捨)

事業・製品区分	13/5期 通期	14/5期 通期	15/5期 通期	構成比率	前年同期 増減率
<b>要素部品事業</b>	5,382	5,697	<b>5,679</b>	85.1 %	<b>- 0.3 %</b>
光学基本機器製品	2,004	2,044	<b>2,086</b>	31.3 %	<b>2.0 %</b>
自動応用製品	1,062	1,220	<b>1,117</b>	16.7 %	<b>- 8.5 %</b>
光学素子・薄膜製品	2,316	2,432	<b>2,475</b>	37.1 %	<b>1.8 %</b>
<b>システム製品事業</b>	809	1,026	<b>996</b>	14.9%	<b>- 2.9 %</b>
光学システム製品	809	1,026	<b>996</b>	14.9 %	<b>- 2.9 %</b>
<b>合計</b>	6,191	6,724	<b>6,676</b>	100 %	<b>-0.7 %</b>



### 営業損益

(単位:百万円未満切捨)

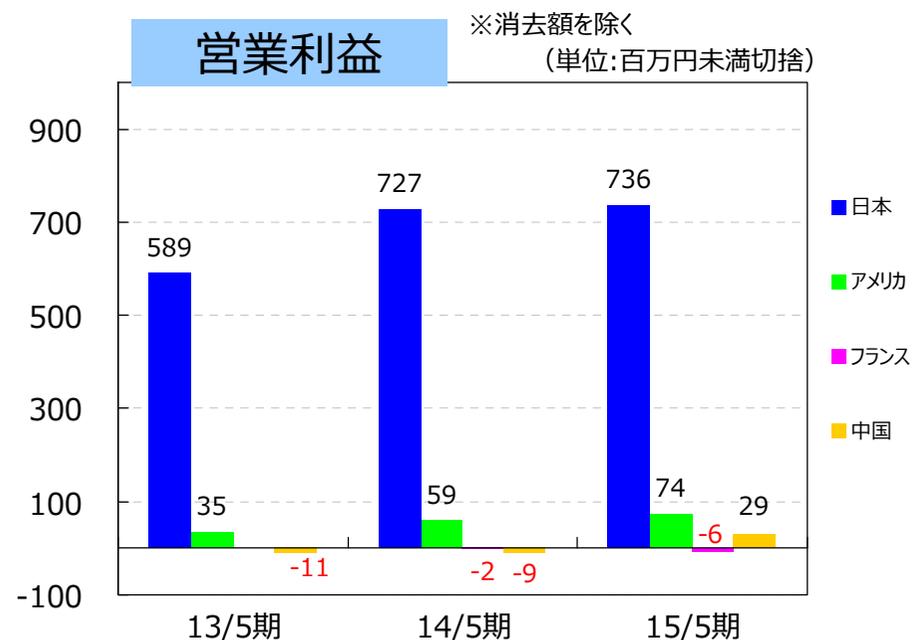
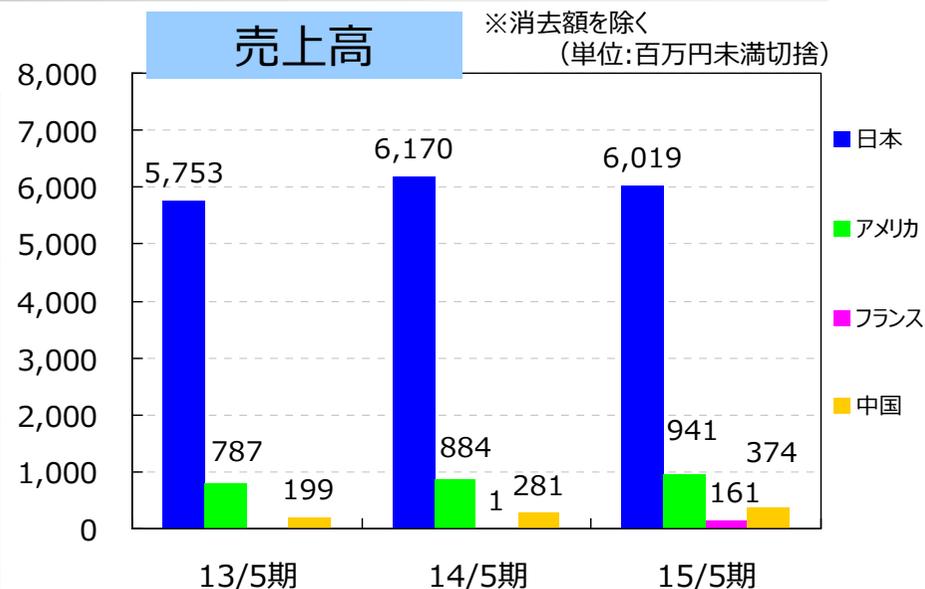
事業区分	13/5期 通期	14/5期 通期	15/5期 通期	前年同期 増減率
<b>要素部品事業</b>	832	911	<b>991</b>	8.8 %
<b>システム製品事業</b>	<b>- 217</b>	<b>- 129</b>	<b>- 134</b>	-
<b>消去</b>	<b>- 437</b>	<b>- 421</b>	<b>- 421</b>	-
<b>合計</b>	178	360	<b>435</b>	20.7 %

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (3)グループ所在地別売上高・営業損益推移 (連結)

(単位:百万円未満切捨)

		日本	アメリカ	フランス	中国	消去 又は 全社	計
2013/5 通期累計	売上高	5,753	787	-	199	- 549	6,191
	営業損益	589	35	-	- 11	- 436	178
2014/5 通期累計	売上高	6,170	884	1	281	- 611	6,724
	営業損益	727	59	- 2	- 9	- 414	360
2015/5 通期累計	売上高	<b>6,019</b>	<b>941</b>	<b>161</b>	<b>374</b>	<b>-820</b>	<b>6,676</b>
	営業損益	<b>736</b>	<b>74</b>	<b>- 6</b>	<b>29</b>	<b>- 398</b>	<b>435</b>



## (4)海外販売先別売上高構成比推移（連結）

米国・欧州・一部を除くアジアは堅調。全体で前年同期比で増加。

北米地域は、好調な経済を反映して、バイオ・メディカル業界が堅調に推移。  
 アジア・オセアニア地域は、中国・韓国・台湾での携帯端末関連業界は好調。  
 欧州地域は、教育機関・公的機関の研究開発分野での需要が好調で大幅増。

(単位:百万円未満切捨)

	13/5期通期 (構成比)	14/5期通期 (構成比)	15/5期通期	構成比	前年同期 増減率	サマリー
売上高	6,191 (100.0%)	6,724 (100.0%)	<b>6,676</b>	100.0%	<b>-0.7 %</b>	
海外売上高	1,424 (23.0 %)	1,546 (23.0 %)	<b>1,719</b>	25.8 %	<b>11.2 %</b>	・米国、欧州市場が堅調に推移。 ・一部を除くアジア市場も堅調に推移。
北米	610 (9.9 %)	683 (10.2 %)	<b>858</b>	12.9 %	<b>25.5 %</b>	・バイオ、メディカル、美容レーザー業界の 組込み用途が堅調に推移。
アジア・ オセアニア	693 (11.2 %)	673 (10.0 %)	<b>626</b>	9.4 %	<b>-7.1 %</b>	・中国、韓国、台湾の携帯端末市場向け 組込み用途のレンズユニットが好調。 ・中国の大口取引先の製品需要が変化。
ヨーロッパ	99 (1.6 %)	173 (2.6 %)	<b>232</b>	3.5 %	<b>33.9 %</b>	・現地法人の直販及び代理店支援により 研究開発、産業分野等への深耕拡大。
その他	20 (0.3 %)	15 (0.2 %)	<b>3</b>	0.0 %	<b>-81.0 %</b>	

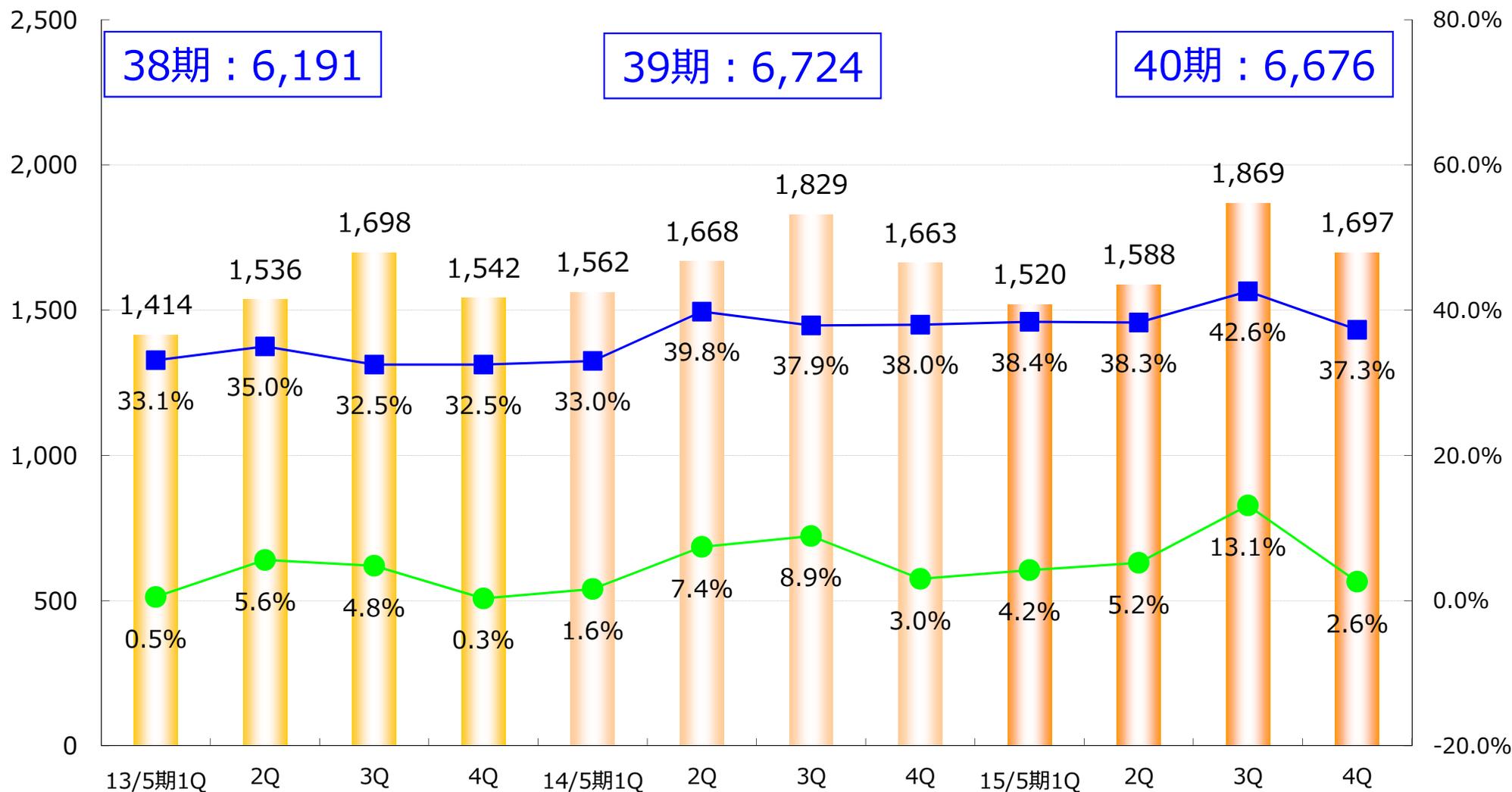
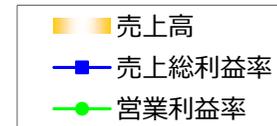
(当期実績は、為替レート(期中平均)として1USドル=110.03円、1人民元=17.74円、1ユーロ=138.68円で計算しております。)

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (5) 四半期売上高・利益率推移 (連結)

(単位:百万円未満切捨)

四半期実績(2013/1Q~2015/4Q)



# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (6) 売上原価の状況 (連結)

生産効率化を推進し、売上原価の構成比率は前年同期比2.0pt改善。

内製化等の生産効率化を推進して材料仕入、外注加工費等を抑制するとともに、グローバル展開に向けた戦略在庫の確保による圧縮効果により材料費等が減少。

(単位:百万円未満切捨)

	13/5期通 期	構成比	14/5期 通期	構成比	15/5期通 期	構成比	前年同期 増減率	サマリー
売上高	6,191	100.0%	6,724	100.0%	<b>6,676</b>	100.0%	<b>-0.7 %</b>	
材料費等	2,228	36.0 %	2,388	35.5 %	<b>2,256</b>	33.8 %	<b>-5.5 %</b>	・内製化等の生産効率化に伴う 材料仕入、外注加工費等の抑制 ・戦略在庫増加による原価圧縮効果
労務費	1,360	22.0 %	1,400	20.8 %	<b>1,383</b>	20.7 %	<b>-1.2 %</b>	・人員減による基準内賃金の減少
減価償却費	268	4.3 %	290	4.3 %	<b>273</b>	4.1 %	<b>-5.9 %</b>	
その他	273	4.4 %	138	2.1 %	<b>139</b>	2.1 %	<b>0.2 %</b>	
売上原価	4,130	66.7 %	4,218	62.7 %	<b>4,052</b>	60.7 %	<b>-3.9 %</b>	
売上総利益	2,060	33.3 %	2,506	37.3 %	<b>2,623</b>	39.3 %	<b>4.7 %</b>	

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (7)販売管理費の状況(連結)

開発対応力の強化により販管費の構成比率は前年同期比で0.9pt増加。

販売促進費は減少も、試験研究費は開発人員の増員と開発対応強化で増加。  
グローバルウェブカタログの改修スケジュールの再検討等により広告宣伝費が減少。

(単位:百万円未満切捨)

	13/5期 通期	構成比	14/5期 通期	構成比	15/5期 通期	構成比	前年同期 増減率	サマリー
売上高	6,191	100.0 %	6,724	100.0 %	<b>6,676</b>	100.0 %	<b>-0.7 %</b>	
販売促進費	245	4.0 %	342	5.1 %	<b>324</b>	4.9 %	<b>-5.5%</b>	
広告宣伝費	57	0.9 %	110	1.7 %	<b>86</b>	1.3 %	<b>-22.1 %</b>	・WEBカタログ改修計画の再検討
人件費	781	12.6 %	803	11.9 %	<b>803</b>	12.0 %	<b>0.0 %</b>	
減価償却費	55	0.9 %	54	0.8 %	<b>59</b>	0.9 %	<b>7.7 %</b>	
試験研究費	301	4.9 %	313	4.7 %	<b>396</b>	5.9 %	<b>26.3 %</b>	・研究開発案件への対応強化と 開発部門の人員増員により増加
その他	441	7.1 %	520	7.7 %	<b>519</b>	7.8 %	<b>-0.1 %</b>	・提案用機材の見本費等が増加するも 全体としては横ばい
販売管理費	1,882	30.4 %	2,145	31.9 %	<b>2,188</b>	32.8 %	<b>2.0 %</b>	
営業利益	178	2.9 %	360	5.4 %	<b>435</b>	6.5 %	<b>20.7 %</b>	

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (8) バランスシート概要(連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2013/5期 通期	2014/5期 通期	2015/5期 通期	対前期末 増減比	サマリー
現金・預金	1,942	2,707	<b>2,824</b>	4.3 %	
受取手形・売掛金	1,813	1,982	<b>2,024</b>	2.1 %	
棚卸資産	1,820	1,764	<b>2,017</b>	14.4 %	・短納期対応の規格品在庫の増加 ・特注案件対応での原材料等の増加
その他流動資産	493	510	<b>562</b>	10.1 %	
有形・無形固定資産	3,418	3,219	<b>3,170</b>	- 1.5 %	
投資等	3,385	3,443	<b>3,367</b>	- 2.2 %	
<b>資産合計</b>	<b>12,873</b>	<b>13,627</b>	<b>13,966</b>	2.5 %	
支払手形・買掛金	649	763	<b>811</b>	6.3 %	
短期借入金	185	180	<b>233</b>	29.4 %	・長期借入の1年内返済予定額が増加
その他流動負債	389	642	<b>460</b>	- 28.4 %	・未払法人税及び未払金の減少
長期借入金	93	198	<b>186</b>	- 6.1 %	
その他固定負債	646	719	<b>765</b>	6.4 %	
<b>純資産合計</b>	<b>10,910</b>	<b>11,123</b>	<b>11,510</b>	3.5 %	・円安による為替換算調整勘定に増加額の影響
<b>負債・純資産合計</b>	<b>12,873</b>	<b>13,627</b>	<b>13,966</b>	2.5 %	

# 1. 2015年5月期 通期決算概要

## (9) キャッシュフロー概要(連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2013/5期 通期	2014/5期 通期	2015/5期 通期	サマリー (当期増減額の要因)
営業活動	376	1,005	<b>435</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前純利益、減価償却費の増加による増加</li> <li>・棚卸資産の増加による減少 (前年は棚卸資産減少)</li> <li>・法人税等の支払額による減少 (前年比大幅増加)</li> </ul>
投資活動	- 730	-145	<b>-209</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形無形固定資産取得による支出により減少</li> </ul>
フリーキャッシュフロー	- 354	860	<b>226</b>	
財務活動	-209	-125	<b>-185</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入による資金の純増加 (純増加は前年より減少)</li> <li>・配当金支払いによる減少</li> </ul>
現金及び 現金同等物の期末残高	1,660	2,450	<b>2,616</b>	

## 1. 2015年5月期 通期決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

## 2. 2016年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

## 3. 2016年5月期 営業戦略

営業本部長

東山 秀行

## 4. 質疑応答

**◆スローガン (2015年から継続)****「アジアNo. 1」から****「世界No. 1」へ****◆事業戦略 基本方針**

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

## (2)当社を取り巻く事業環境

## マーケットのニーズ

- 加工・観察・計測・医療・通信・光源・記憶媒体などの分野でのレーザ光応用技術の活用の拡大
- 高度な研究開発や実用化試作ではレーザ及び光学の先端技術を実装したユニット製品のニーズが増加

## 当社グループの強み

- ハイエンド市場のニーズに応える高精度・高性能な光学要素製品・光学システム製品をラインナップ
- 光学・機械・電気・ソフトウェア等の中核技術を融合・システムアップしてワンストップでの提供が可能

## 「光ソリューション・カンパニー」

Light Solutions for Life®

民間企業や教育機関・公的機関における1研究テーマから国家的プロジェクトまで、当社の「光学技術」「機械技術」「システム技術」「電気設計」「ソフトウェア開発」等の中核技術を融合した「オンリーワン製品・ナンバーワン製品」で新たな価値を創出。

## ものづくり力UPによる収益力向上

### 営業力 UP

- 生販開連携のソリューション提案の強化
- Global Webによる新たな販売機会の拡大
- 成長産業市場と先端技術R&D分野の開拓

### 生産力 UP

- 技術融合製品の生産工程確立と量産対応
- 生産技術高度化による内製化と工程圧縮
- 外部調達コストの削減と適正な在庫管理

### 開発力 UP

- 先端技術・高難度チャレンジ案件の取込み
- 中核技術を融合したオンリーワン製品の開発
- 市場志向の新製品開発による新市場創造

### (4)2016年5月期通期計画 (連結)

産業分野での投資意欲の改善と堅調な受注環境を背景に増収増益。

足元堅調な受注環境を踏まえて、産業分野の新規開発・設備投資の改善に伴う需要の回復及び海外市場の展開強化によって前年同期比で増収増益を見込む。大学・官公庁向け研究開発分野は高度技術提案の強化での案件増加を見込む。

(単位:百万円未満切捨)

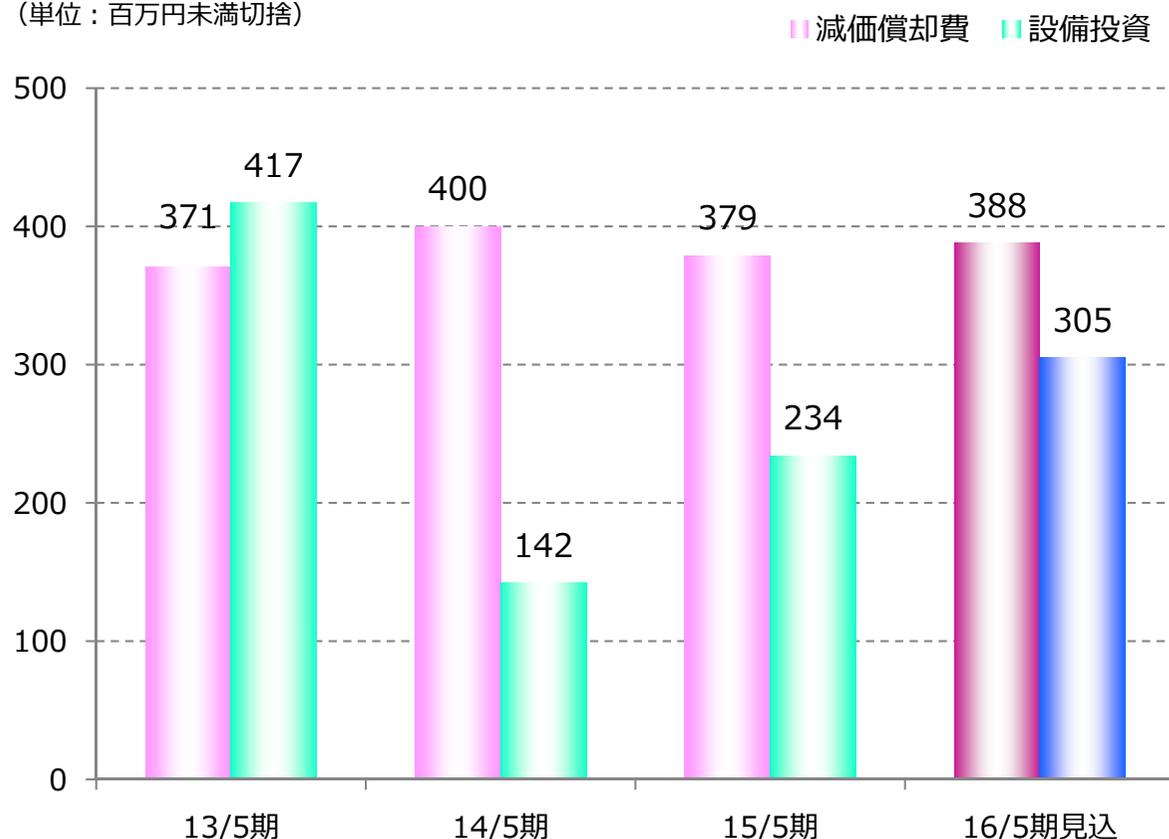
	2014/5期		2015/5期		2016/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差異 (金額)	差異 (増減率)
売上高	6,724	100.0 %	6,676	100.0 %	3,345	3,925	7,270	100.0%	593	8.9 %
営業利益	360	5.4 %	435	6.5 %	195	360	555	7.6%	119	27.6 %
営業利益率	5.4 %	-	6.5 %	-	5.8%	9.2%	7.6%	-	-	-
経常利益	489	7.3 %	555	8.3 %	245	420	665	9.1%	109	19.7 %
当期純利益	294	4.4 %	327	4.9 %	145	270	415	5.7%	87	26.9 %
1株当り 当期純利益	39円11銭	-	43円41銭	-	19円25銭	-	55円09銭	-	-	-

(期初予想は、為替レートとして1USDドル=115.00円、1人民元=18.50円、1ユーロ=135.00円を前提としております。)

### (5)投資・減価償却費見込み（連結）

#### 設備投資・減価償却費

(単位：百万円未満切捨)



#### 補足説明

##### ◎主要設備投資

##### ○13/5期

- ・情報システム投資 1.2億円
- ・拠点建屋改修工事費 1.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.9億円

##### ○14/5期

- ・情報システム投資 0.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.2億円

##### ○15/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.3億円
- ・販促用デモ器投資 0.3億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円

##### ○16/5期

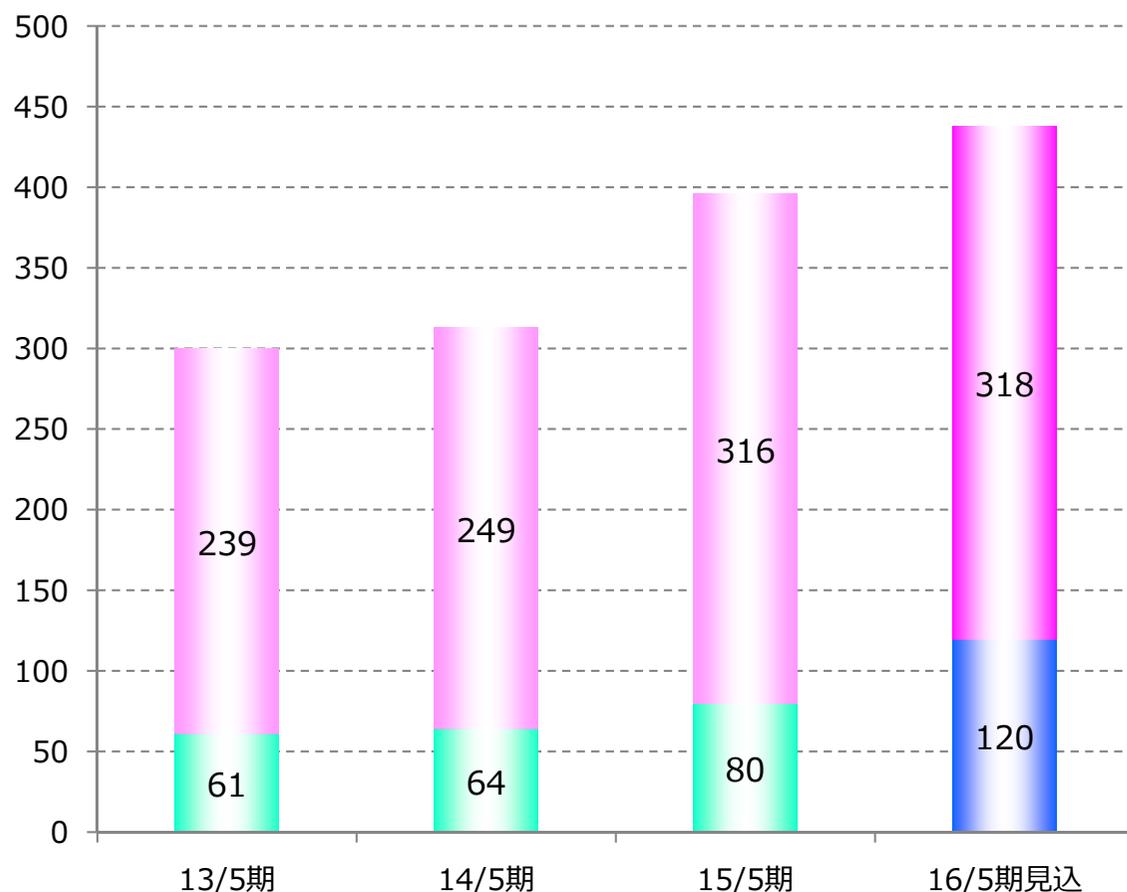
- ・光学素子設備増強投資 0.8億円
- ・基本機器設備増強投資 0.6億円
- ・研究開発設備投資 0.3億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.6億円

## 2. 2016年5月期 通期見通し (6)研究開発費見込み (連結)

### 研究開発費

(単位：百万円未満切捨)

■ 部材費 ■ 人件費等

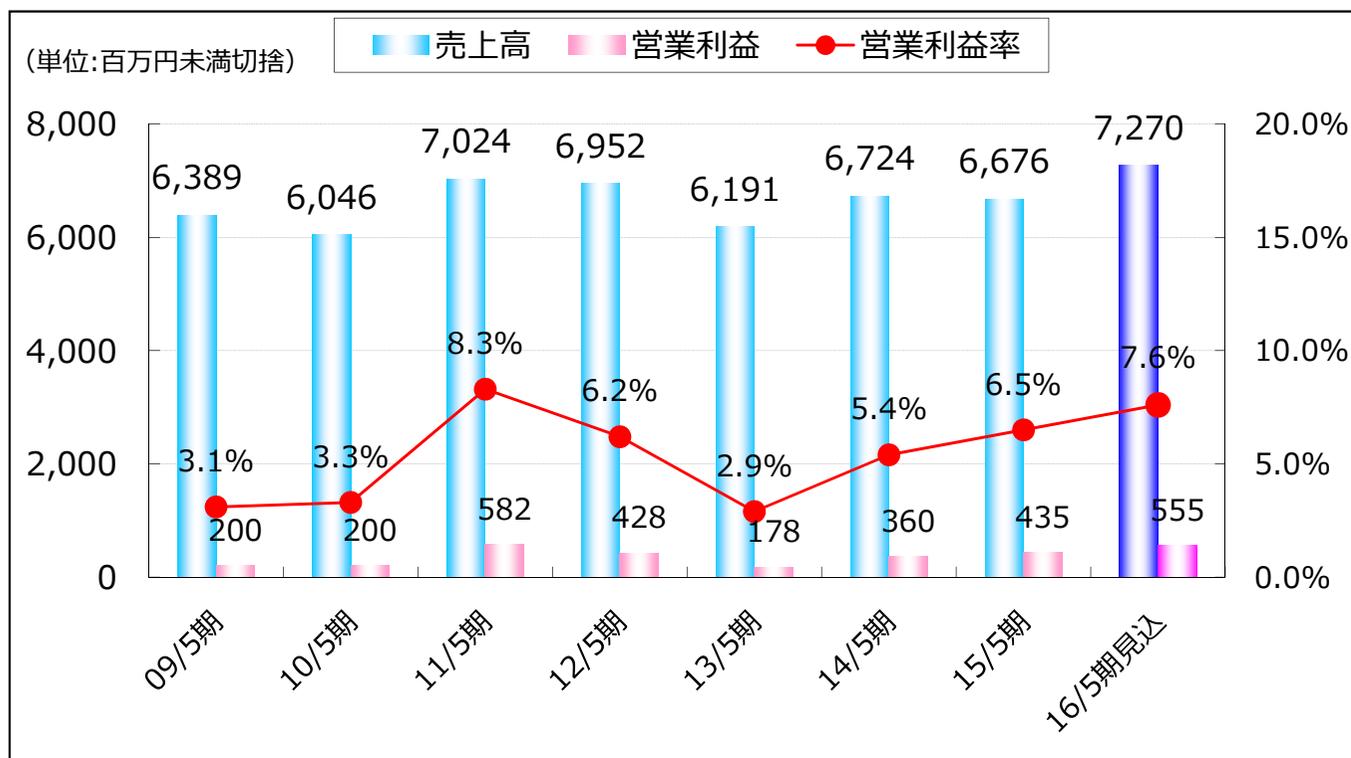


### 補足説明

(単位：百万円未満切捨)

	自社	産学官連携
13/5期	61	-
14/5期	59	5
15/5期	73	7
<b>16/5期見込</b>	<b>120</b>	<b>0</b>
	人件費等	人件費込 売上高比率
13/5期	239	4.9%
14/5期	249	4.7%
15/5期	316	5.9%
<b>16/5期見込</b>	<b>318</b>	<b>6.0%</b>

### (7)売上高・営業利益・営業利益率予想（連結）



#### 2016年5月期サマリー

- ①売上高の増加
  - 産業分野の投資意欲の回復
  - 海外市場での売上は堅調
- ②売上原価率の抑制
  - 材料仕入・外注費率の圧縮
  - 業務効率化による圧縮
- ③販売管理費の抑制
  - 生産部門の営業支援業務の圧縮
  - 各種手数料の圧縮
  - 広告宣伝費（Web改修）の増加
  - 旅費交通費（海外展開）の増加
  - 試験研究費（開発強化）の増加

#### \* 強固な財務体質を堅持（連結）

※リーマンショック後との比較

- |         |                  |   |                  |
|---------|------------------|---|------------------|
| ①自己資本比率 | 09/5期： 86.1%     | → | 15/5期： 82.1%     |
| ②利益剰余金  | 09/5期： 5,427百万円  | → | 15/5期： 5,543百万円  |
| ③純有利子負債 | 09/5期： ▲1,092百万円 | → | 15/5期： ▲2,405百万円 |

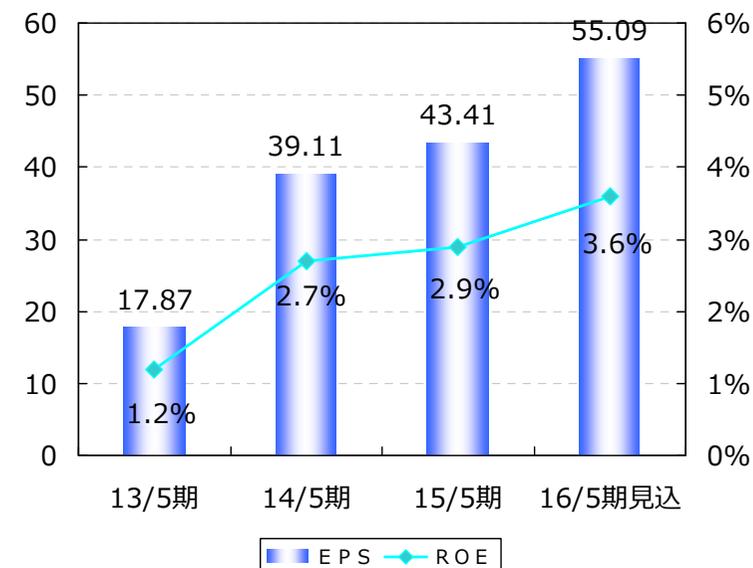
## 2. 2016年5月期 通期見通し (8)収益性分析の概要

### 連結EPS・ROE

	2013/5期 通期	2014/5期 通期	2015/5期 通期	2016/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	134	294	327	<b>415</b>
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	17.87	39.11	43.41	<b>55.09</b>
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	1.2	2.7	2.9	<b>3.6(※)</b>

※2015年5月期の自己資本額を元に試算しております。

(単位：円)

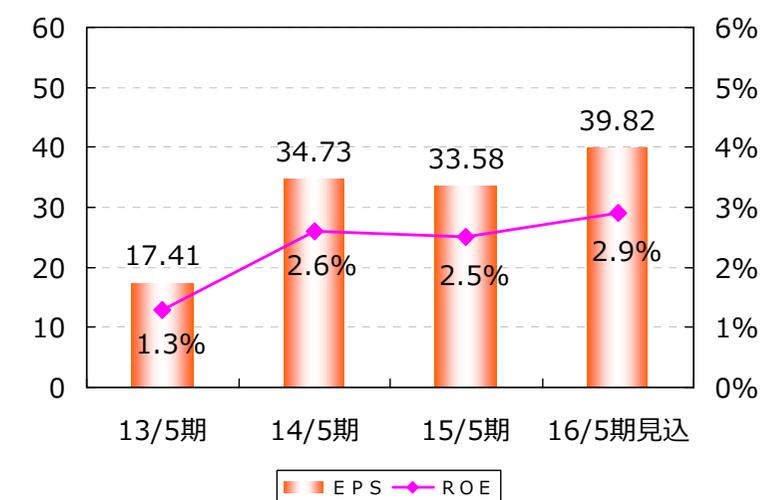


### 単体EPS・ROE

	2013/5期 通期	2014/5期 通期	2015/5期 通期	2016/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	131	261	252	<b>300</b>
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	17.41	34.73	33.58	<b>39.82</b>
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	1.3	2.6	2.5	<b>2.9(※)</b>

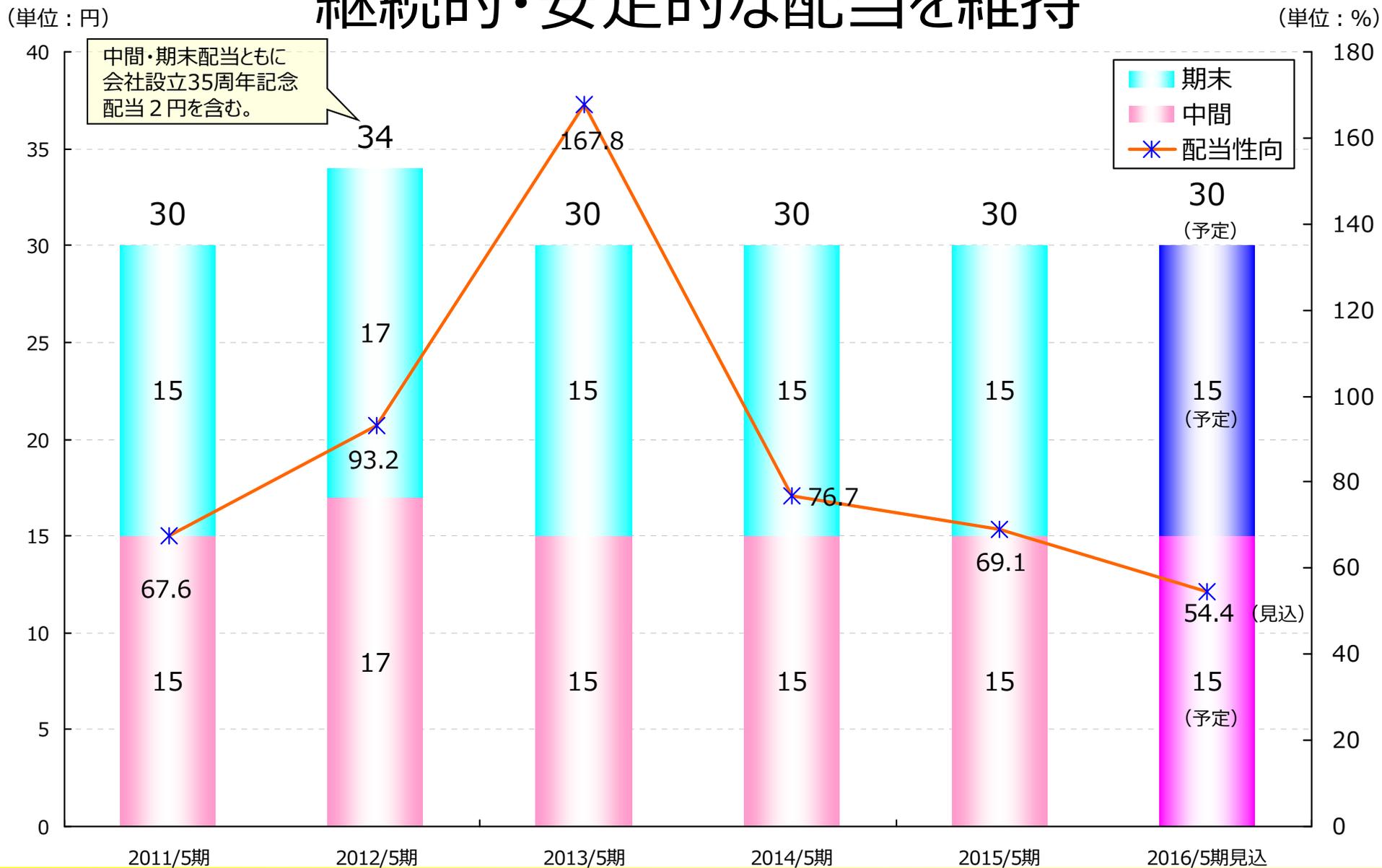
※2015年5月期の自己資本額を元に試算しております。

(単位：円)



### (9) 配当金推移

# 継続的・安定的な配当を維持



## 1. 2015年5月期 通期決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

## 2. 2016年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

## 3. 2016年5月期 営業戦略

営業本部長

東山 秀行

## 4. 質疑応答

## (1)マーケットと主要製品

■ 官公庁・研究機関：『お客様の欲しいを形に製品』群、No.1 Products

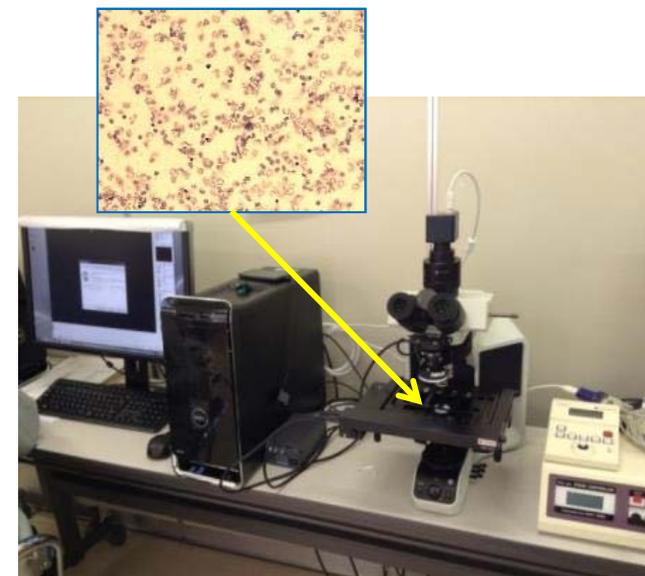
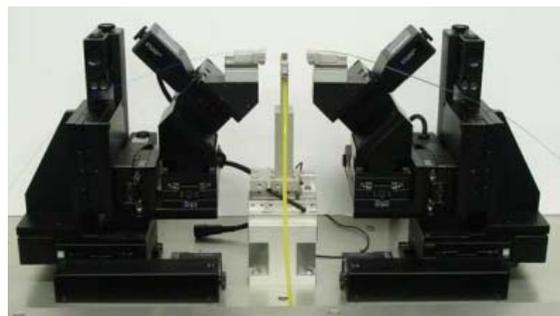
■ スマートフォン関連：対物レンズ、自動ステージ、小型アクチュエータ



■ バイオ・メディカル関連：細胞カウント装置、蛍光観察測定装置

■ 通信関連：導波路調芯装置

■ 国家PJ関連：スーパーミラー等



## (2) 取り組み課題と施策

### ①リピート・OEM・ODM受注増加

- ・規格品の短納期対応
- ・PV展にて積極的に実機紹介、ブラッシュアップ、新製品創出

### ②チャレンジ案件(オンリーワン製品)の獲得

- ・開発部・生産本部技術者同行でのソリューション提案
- ・高難易度案件の概算見積・仕様のカウンタープロポーザル短縮

### ③新規潜在顧客層開拓

- ・お客様目線のフレンドリーで電子決済可能なWebカタログの整備
- ・新製品、各種キャンペーンのWeb等によるタイムリーな情報提供

## (2) 取り組み課題と施策 (Key Word &amp; フロー)

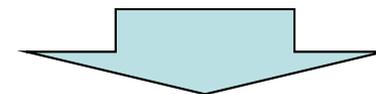
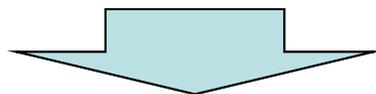
規格品・OEM・ODM 60 : 特注品 40



戦略在庫・短納期化



概算仕様・見積りの  
早期カウンタープロポーザル



WebカタログVer.up ・ PV展 ・ 欲しいを形に製品 ・ 技術者同行提案営業



リピート・OEM・ODM製品 / オンリーワン製品の創出

カタログ製品のブラッシュアップ、新製品創出

規格品・OEM・ODM 70 : 特注品 30

## (2-1) Webカタログのバージョンアップ



<http://www.global-optosigma.com/>



COMPANY GUIDE

PRODUCTS INFORMATION



COMPANY GUIDE

▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE

PRODUCTS INFORMATION

▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE



COMPANY GUIDE

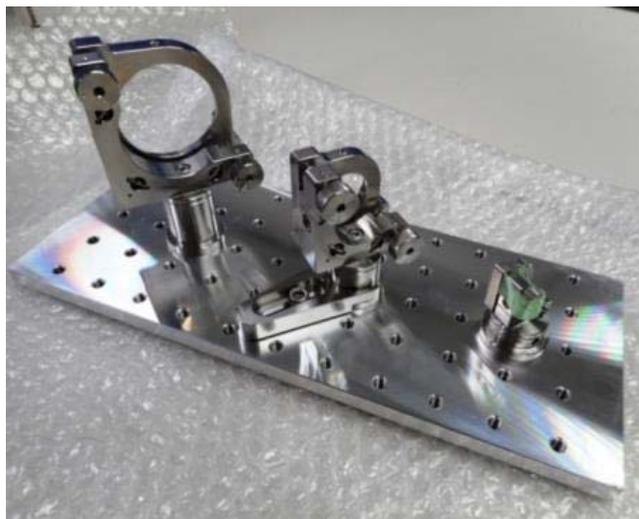
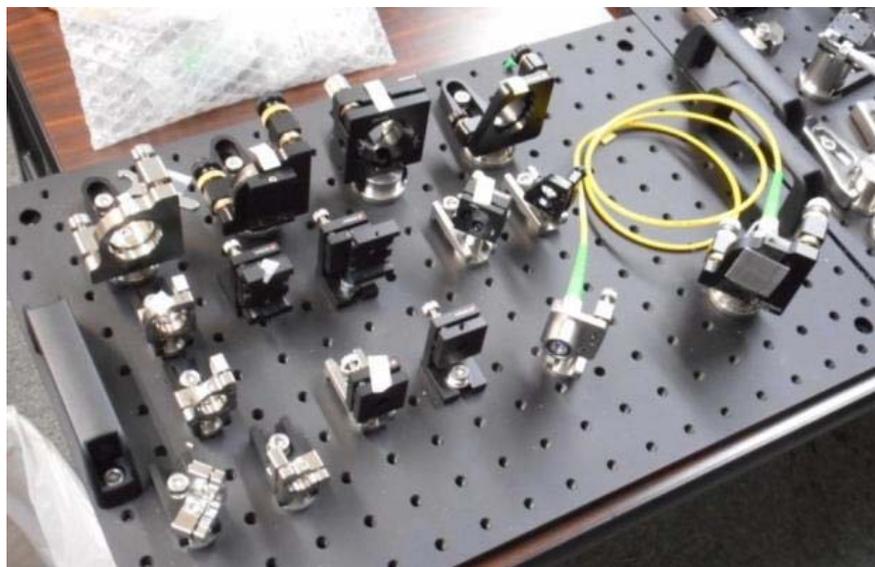
PRODUCTS INFORMATION

### 3. 2016年5月期 営業戦略 (2-2)プライベート展示会 (P V展)

- お客様の事業所を訪問し、新商品や注力商品を紹介



## Photonics West 2015 出展品



真空用新製品

- PV展機材を活用したアイランド式の展示品を昨年よりも大幅に増加。
- 真空用新製品は、能登工場の協力で展示用ベースプレートも製作。

### (3)海外市場見通し

#### ■ 中国、台湾、韓国、東南アジア

- ・スマホ生産関連活発化、秋口にもう一波ある見込み
- ・新規研究室開設活発化 → タイムリーな供給体制

#### ■ 北米地域

- ・バイオ、メディカル関連リピート好調
- ・競合他社を上回るフレンドリーなWebコンテンツ充実

#### ■ EU圏

- ・国家PJ等大口・高難易度チャレンジ案件を獲り込み
- ・競合他社を上回るフレンドリーなWebコンテンツ充実

## 第41期6月は好調

### ①スマホ設備投資の恩恵



### ②大学官公庁 新規研究室開設の恩恵



**新規研究室応援サポート**  
新設された研究室を応援します！  
10%の特別割引実施中



### ③防衛関連レポート案件

**OptoSigma**

シグマ光機  
**新規研究室応援サポート**

シグマ光機では、大学官公庁・研究機関において新規開設された研究室様を対象に、10%の特別割引を実施いたします。この応援サポートは、研究室開設から1年間のご注文についてご利用いただけます。

購入の際は、製品選定のサポートもお気軽にご依頼ください！

新規開設された  
研究室様対象  
**10%特別値引**  
開設1年間ご利用

**応援サポート対象について**

- 対象とさせていただきます研究室様は下記の通りです。対象かどうかご不明の場合は……
- シグマ光機営業部へ下記までお気軽にお問い合わせください。
  - ご利用・相談が、大学・高等・独立行政法人等の非営利団体の研究センターであること
  - 新規研究室の主任研究員(リーダー)の方であること

**●お値引きについて 一律10%引き**

- 直接のご注文をいただいた場合のみ、この値引きサポートが適用されます。
- 各種キャンペーン等の特別値引きとの併用は適用されない場合があります

※お値引き対象外製品：一部のシステム製品は除く

表面の申込用紙に記入いただき営業部まで

お申込み先  
Max27/Alt

**SIGMAKOKI** シグマ光機株式会社  
E-mail: sales@sigma-koki.com

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL.03-627-4333 FAX.03-627-4334

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL.03-627-4333 FAX.03-627-4334

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL.03-627-4333 FAX.03-627-4334

©2016 OptoSigma

## 1. 2015年5月期 通期決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

## 2. 2016年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

## 3. 2016年5月期 営業戦略

営業本部長

東山 秀行

## 4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。